

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

評価日 2018年1月31日

団体名	公益社団法人 佐久青年会議所		
事業名	佐久郷土かるた「佐久っ子かるた」～未来を切り拓く青少年へ～		
対象経費	3,576,392円	支援金額	447,000円

事業の目的・内容	目的
	<p><事業の目的></p> <p>佐久市には、数多くの魅力と歴史があります。その魅力を親から子へ、子から子へと語り受継がれてゆく事で、その輝きを持続的に保ち続ける事が可能です。</p> <p>また、青少年教育に目を向けると、子育てをする親と子供たちを取り巻く環境は、時代と共に変化しています。吸収力が強く様々な体験をすべき青少年の時期に、自分の住むふるさとを知り、実際に触れ、学ぶことや、佐久の歴史や魅力を親子の共通の時間の中で繰り返し子供たちに伝えることによって、子供たちの心へ深く根差し、今後の私たちの町の未来を支える立派な青年への成長を促すことに繋がると確信しています。</p> <p>ゆえに、佐久市民の皆様にご活用していただける、佐久市の数々の魅力と伝えてゆくべき歴史等を盛り込んだツールを作成することは、親子のふれあいを果たせつつ、子供たちへ郷土愛を育ませ、未来を担う人材を育成する上で、非常に意味のあることであると考えます。</p>
	内容
	<p>1. 佐久の魅力と盛り込んだ読み句の募集</p> <p>佐久市内の児童と保護者から一般募集する事により、実際に制作するかるたに対する愛着を深めていただくと同時に、読み句を考えるにあたり、親子のふれあいの機会を創出し、実際に地域へ散策、調査に出かける機会となり、地域の事を親子共に考える事につながり、生活する町に対する意識の向上を図ることができる。</p> <p>参加予定者：佐久市児童5256名とその保護者</p> <p>2. 「佐久っ子かるた」選考会</p> <p>一団団で作品を選出し制作するのではなく、他団体と協力の内に作品を選出することで、様々な意見を募り、より良い佐久のアピールとなるかるた制作を目指す。また、選出をきっかけに共に青少年に関する意見交換をする事で、交流を深め、今後の各団体の活動への広がりをもたらす機会とすることができる。選考に関しては佐久青年会議所内で予備選考を行い、1枚に対し5句程度の句をあらかじめ選定しておく。また、句数が少ない場合は、補作を予備選考の段階で行い、選考会にて判断をする。</p> <p>3. 読み句に合わせての絵の作画を佐久市内に拠点をもつ活動サークルへ依頼</p> <p>佐久市に本拠地を置く絵画団体等に依頼をし、絵札をデザインしていただくことにより、地域ぐるみでのかるた制作を目指すと共に、かるたを芸術としての観点からも完成度を高める。また絵の魅力により、地域の魅力をより具体的に、端的に伝えられるかるたとする事ができる。主として、地域の高校の美術部へ依頼を行い、生徒たちが主体となるように絵の制作を行う。</p> <p>4. 「佐久っ子」かるたを佐久市内小学校・児童館・図書館に配布</p> <p>全児童家庭に配布することで、購入方式ではない形の普及を目指す。また、かるたを活用する、しないに関わらず、親子ふれあいのきっかけを佐久地域のすべての児童と親子に提供することができる。また、実際にかるたを通して知った歴史、地域に関する場所へ親子共に出かける事へも繋がり、学習する機会ともなる。</p>

配布場所：佐久市内各小学校・児童館・図書館・市内保育園・幼稚園へ配布

【かるた同封物】

- ・かるた題材名所の説明書き(詠み句選出者の名前を記載) A3
- ・かるた遊び方説明書(上記題材名所の説明書きの一部に記載)
- ・かるた裏面の名所マップを完成させるための完成絵図(商工会議所の協賛企業名、位置入り図) A3別紙

H29年11月6日

「佐久っ子かるた」配布先(案)

佐久市内小学校 4465

佐久市内児童館 95

佐久市内図書館 15

佐久商工会議所 50

佐久青年会議所 50

佐久地域内保育園等 1125

かるた大会用 200

合計 6000

5. 第1回「佐久っ子かるた」大会

かるたの普及の一環として、かるた大会を開催する。大会実施することで、より多くの人々へのかるたの認知度の向上を図れる。

① かるた大会募集チラシ配布 1月8日

↓↓

② 参加者募集 1月8日～1月25日 保護者と児童の大会参加者を募集

↓↓ 募集は100組程度

③ 第一回かるた大会実施 1月27日(土) 児童ペアで大会を実施

日時：平成30年1月27日(土) 参加無料

場所：佐久平交流センター

時間：14:10 大会受付開始

14:30 大会開始

16:30 大会終了

6. 「佐久っ子かるた」を活用した事例の絵を募集

かるた大会の参加者から、かるたを活用した絵を募集し、例年行われている佐久市ミレニアムパーク内においてのSAKUBLOOMイルミネーションのドリームランタンの近くへ飾る。また、完成した佐久っ子かるたをランタンとして製作し展示をすることで、地域内外の観光者に対しても、ふれあいの大切さや地域の特色について普及を図ることができる。

○かるた詠み句募集 応募参加結果：

かるた詠み句応募者数 436句(チラシ配布枚数 6000枚)

配布枚数に対する応募率 7.27%

実施考察：

佐久市内の各小学校へかるた詠み句のチラシを配布し、また市内の児童館へチラシを配布することにより、436句の読み句を回収することができた。

○かるた選考会 実施考察：参加者37名

実際に計画していた参加人数よりも参加者が少なかった部分もあったが、各グループごとに詠み句を限定して選考会に臨んだこと、また、事前に佐久の名所についてリサーチを行い、名所の歴史等について詳しく説明する事で名所にふさわしい詠み句の選考をスムーズに行う事ができた。

○絵札作画 依頼結果：

事前に市内各サークルと各高校へ依頼をしたものの、結果として携わっていただけなのは、長野県岩村田高校美術班のみであった。班員は18名であり、各班員が何点かを担当して作画を行った。

かるた箱のデザインについては、かるたの絵札のデザインラインを総括してくださった上田市出身の越ちひろ氏に依頼をし、作品提供をいただいた。

事業の活動実績

○かるた大会 実施結果：
佐久市野沢小学校協力のもとにプレかるた大会を開催し、後日佐久市教育委員会の協力の元に第一回佐久っ子かるた大会を実施した。

・プレかるた大会
野沢小学校地域ふれあい祭りにおけるかるた大会実施
チラシ配布 地域ふれあい祭りチラシの内容に含めていただいた
開催日時 2017年10月14日 11:30~13:30
開催場所 佐久市立野沢小学校 体育館 長野県佐久市取手町472-3
参加人数 49名

・第一回佐久っ子かるた大会
チラシ配布 2018年1月8日~
開催日時 2018年1月27日 14:10~16:30
開催場所 佐久平交流センター 2階第五会議室 佐久市佐久平駅南4-1
参加人数 81名

実施考察：
野沢小学校地域ふれあい祭りにおいては、1-2年生、3-4年生、5-6年生を学年ごとに分けてかるた取りを3回行った。かるた取り優秀者へは表彰はせずに佐久青年会議所の協力のもと景品の配布、参加賞の配布を行った。この段階では児童へのかるたの配布が行えていなかったために、事前にサンプルとして届いていたかるたを活用しかるた大会を実施した。当日のふれあい祭りへの参加者が野沢地区の方々が多かったために、野沢小学校の児童が参加者の大半を占めていた。

第一回佐久っ子かるた大会においては、事前の申し込みはインターネットで27名、小学校からの切り離しの申込み書で26名であり、53名程度であったが、佐久市教育委員会の協力のもと、大ホールを活用した佐久っ子かるた詠み句採用者の表彰式も行ったために、当日の参加者も多くあり、最終的に参加者は81名であった。かるた大会は1年生、2年生、3~6年生の部と3部門に分けて大会を実施した。各部門ごとに優秀者3名を表彰し、記念撮影を行った。

事前にかるたの配布をされていたこともあり、参加者の児童の中にはかなりの練習をしてきていた児童もあり、3回戦で総獲得枚数を100枚を超える児童もいた。練習をしている家庭が多かった事からも、親子でのふれあいの時間と佐久の名所を児童へ広げる事ができた実感できたかるた大会であった。



別記様式第5号 (6の2関係)

事業の成果・効果	<p>・「佐久っ子かるた」 配布対象予定者児童5256名 (制作数6000個) 配布家庭数4465戸 (各家庭1個) 児童に対する網羅率 網羅率84.95%</p> <p>地域配布のチラシによる反応結果を見ると、実際に興味のある親子は事業に参加するものの、ほとんどの保護者等は事業に参加していない事になります。佐久という地域に暮らしてゆく中で、必要な情報やツールを積極的に団体側から生み出し、家庭内・地域での取り組みができる環境と、地域内のすべての児童と保護者へ地域を考える意識変革の機会を提供するために、佐久市内小学校の各児童(平成29年1月現在 5256名)へかるたを配布することは、結果的に地域の歴史や伝統、商業といった事柄を後世へ伝承していくために効果があります。また、世代間の交流を図りながら児童へ郷土愛を伝える事ができ、地域外へも交流のためにかるたを活用することは、自身の住む町の魅力を対外へ発信しやすくなり、地域を活性化させることへ繋がります。</p> <p>実際に児童へ配布を行った事により、世代間の交流と地域外からの配偶者への地域の魅力を子どもと一緒に学ぶこと、友達同士で遊びながら佐久の魅力を学習してゆく事により、地域に根差した青少年を育成する上で効果がありました。</p> <p>野沢小学校地域ふれあい祭りにおけるアンケート結果(抜粋) ・絵が分かりやすく、内容に親近感があってよかった。 ・かるた大会での子ども用の景品が欲しかった。 ・佐久にも沢山の魅力がある事が知れてとてもよかった。 ・低学年には難しいかなと思いましたが、まったく問題がなかった。逆にすぐに取れなくて楽しいように見えた。 ・佐久の出身ではないので、実家の両親と子どもたちと一緒にかるたをすれば、佐久のことも知ってもらえていいなと思いました。</p>
----------	---

自己評価	<p>事業は申請どおり実施できた</p> <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>事業の実施によって、期待した効果をあげることができた</p> <p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	<p>実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について</p> <p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) チラシのデザインを自ら行ったことで、デザイン費を削減でき、会場費に関しても佐久市教育委員会と合同で行う事により、会場費を補っていただく事ができたため、予算よりも事業費が減額したため。</p>
	<p>その他、評価すべき点等</p> <p>佐久市内すべての児童家庭に配布できた事から、親子ふれあいのきっかけをすべての家庭へ提供できた事の効果が大きかった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>・佐久市教育委員会が子どもとメディアとの付き合い方に関してアウトメディアを推進をしている事から、親子のふれあいとかるたの楽しみを児童に伝えることができるようにご協力いただき、今後も佐久キッズメディアセーフティの協力のもとに、かるた大会の継続実施に向けて協議を進めています。</p>
---------	---